



平成25年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年4月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マルマエ

コード番号 6264 URL <http://www.marumae.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 前田 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 藤山 敏久

TEL 0996-64-2900

四半期報告書提出予定日 平成25年4月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第2四半期の業績(平成24年9月1日～平成25年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第2四半期	584	△6.2	80	35.2	87	96.6	85	—
24年8月期第2四半期	623	4.8	59	—	44	—	△6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第2四半期	4,922.27	—
24年8月期第2四半期	△344.92	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第2四半期	1,683	97	5.8
24年8月期	1,775	11	0.7

(参考) 自己資本 25年8月期第2四半期 97百万円 24年8月期 11百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年8月期	—	0.00	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 8月期の業績予想(平成24年 9月 1日～平成25年 8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,100	△0.3	65	29.0	45	109.4	40	—	2,292.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年8月期2Q	18,540 株	24年8月期	18,540 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年8月期2Q	1,094 株	24年8月期	1,094 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年8月期2Q	17,446 株	24年8月期2Q	17,446 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると断定する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第 2 四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れリスクがあるものの、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果などを背景に、雇用情勢や企業収益に改善の動きが見られ、個人消費は底堅く推移し、景気は一部に弱さが残るものの持ち直しの動きが見られました。

当社の主な販売分野であるF P D業界におきましては、テレビ向けの液晶パネルの需要が悪化していることで関連する大型液晶パネルの設備投資は停滞が続きましたが、スマートフォンやタブレットP C向けの中小型液晶パネルの設備投資は国内向けを中心に好調に推移しました。半導体業界におきましては、携帯端末の増加など一部に回復傾向はありながらも、パソコン需要の停滞が続いたほか、携帯端末メーカーの競合激化に関連し半導体調達先の変化が見られるなど複合的な要因で設備投資は低調に推移しました。その他分野では、太陽電池業界において中国の新興メーカーの台頭などアジア地域を中心とした生産が増加していることにより需給が悪化し急激な価格低下が続いております。

当社は、このような経済状況のもと、F P D分野では、スマートフォンやタブレットP C向けの国内液晶パネルメーカーの設備投資に関連した受注を獲得いたしました。半導体分野では、設備投資の動きは鈍く、非常に厳しい市場環境のなか、新規顧客からの受注獲得に成功したほか、既存顧客からの受注品種拡大も継続している状況ですが、市場の停滞が続く中では受注金額を維持する程度にとどまっております。損益面では固定費削減効果と自社生産方式の構築による生産性の向上により営業利益は改善傾向にあります。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高が584百万円(前年同期比6.2%減)、営業利益は80百万円(前年同期比35.2%増)、経常利益は87百万円(前年同期比96.6%増)、四半期純利益は85百万円(前年同期の四半期純損失は6百万円)となりました。

なお、当社は精密切削加工事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び資産の状況

(資産)

前事業年度末に比べ、92百万円減少し1,683百万円となりました。主な内容は、受取手形及び売掛金が160百万円、たな卸資産が26百万円増加、現金及び預金が197百万円、電子記録債権が9百万円、固定資産が63百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

前事業年度末に比べ、178百万円減少し1,585百万円となりました。主な内容は、買掛金が12百万円、その他流動負債が4百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が194百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

前事業年度末に比べ、85百万円増加し97百万円となりました。主な内容は、四半期純利益の計上により利益剰余金が85百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の0.7%から5.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ197百万円減少し、186百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、20百万円(前年同期は247百万円の獲得)となりました。これは主に、増加要因として、税引前四半期純利益87百万円、減価償却費57百万円及び仕入債務の増加額12百万円、減少要因として売上債権の増加額150百万円及びたな卸資産の増加額26百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、6百万円(前年同期は333百万円の獲得)となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入21百万円、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出15百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、196百万円（前年同期は338百万円の使用）となりました。これは長期借入金の返済による支出194百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績につきましては堅調に推移したものの、半導体分野の市場環境が不透明であります。

以上により、通期の業績予想につきましては、平成24年10月12日の決算短信にて公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当第2四半期累計期間において、営業利益80百万円、四半期純利益85百万円を計上しておりますが、前事業年度においては、営業利益50百万円を計上しながらも当期純損失62百万円を計上している状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社は平成23年8月期より実施しております、事業再生ADR手続の事業再生計画における金融支援策や熊本事業所売却及び人員整理等の施策効果、また継続的に進めております生産構造改革により、収益状況は順調に推移し、収益性の向上による経営基盤の改善が継続的に見込める状況にあります。また、資金面においても、当該事業再生計画に基づく弁済方法の変更により、安定した事業運営を進めるための十分な運転資金を有している状況であります。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は存在しないと判断しております。

なお、文中の将来に関する事項は、当第2四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年 8 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (平成25年 2 月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	384,011	186,210
受取手形及び売掛金	232,015	392,117
電子記録債権	87,410	78,021
商品及び製品	3,818	9,758
仕掛品	16,804	37,137
原材料及び貯蔵品	146	365
その他	12,209	5,249
貸倒引当金	△608	△1,382
流動資産合計	735,808	707,479
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	315,046	305,953
構築物（純額）	8,788	7,601
機械及び装置（純額）	305,867	271,104
車両運搬具（純額）	5,104	4,026
工具、器具及び備品（純額）	2,107	4,059
土地	289,783	289,783
リース資産（純額）	5,600	3,200
建設仮勘定	75,275	74,500
有形固定資産合計	1,007,573	960,229
無形固定資産	2,291	7,413
投資その他の資産	※ 30,063	※ 8,381
固定資産合計	1,039,928	976,023
資産合計	1,775,737	1,683,502
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,548	29,747
1年内返済予定の長期借入金	194,009	—
未払法人税等	2,918	2,877
受注損失引当金	4,100	4,400
その他	55,596	60,342
流動負債合計	274,172	97,367
固定負債		
長期借入金	1,486,336	1,486,336
資産除去債務	1,584	1,591
その他	1,939	629
固定負債合計	1,489,860	1,488,557
負債合計	1,764,032	1,585,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	133,000	133,000
資本剰余金	123,000	123,000
利益剰余金	△244,295	△158,421
株主資本合計	11,704	97,578
純資産合計	11,704	97,578
負債純資産合計	1,775,737	1,683,502

(2) 四半期損益計算書
(第 2 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 9 月 1 日 至 平成24年 2 月 29 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 2 月 28 日)
売上高	623,368	584,864
売上原価	472,236	410,220
売上総利益	151,131	174,643
販売費及び一般管理費	※ 91,645	※ 94,189
営業利益	59,486	80,453
営業外収益		
受取利息	29	34
為替差益	6,875	16,015
その他	699	330
営業外収益合計	7,603	16,380
営業外費用		
支払利息	11,860	8,986
その他	10,702	305
営業外費用合計	22,562	9,291
経常利益	44,527	87,542
特別利益		
固定資産売却益	3,032	—
特別利益合計	3,032	—
特別損失		
固定資産売却損	35,100	—
固定資産除却損	0	35
事業構造改善費用	16,354	—
特別損失合計	51,454	35
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△3,895	87,507
法人税、住民税及び事業税	2,122	1,633
法人税等合計	2,122	1,633
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△6,017	85,873

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 9 月 1 日 至 平成24年 2 月29日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 2 月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△3,895	87,507
減価償却費	80,852	57,496
有形固定資産売却損益 (△は益)	32,068	—
有形固定資産除却損	0	35
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△349	3,597
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,900	300
受取利息及び受取配当金	△29	△34
支払利息	11,860	8,986
為替差損益 (△は益)	△4,968	△13,619
売上債権の増減額 (△は増加)	145,843	△150,712
たな卸資産の増減額 (△は増加)	20,490	△26,492
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,725	12,198
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17,274	△4,786
その他	6,924	16,383
小計	262,897	△9,140
利息及び配当金の受取額	30	35
利息の支払額	△11,620	△8,794
法人税等の還付額	117	6
法人税等の支払額	△3,734	△2,924
営業活動によるキャッシュ・フロー	247,689	△20,816
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,495	△8,505
有形固定資産の売却による収入	342,896	—
無形固定資産の取得による支出	—	△6,804
従業員に対する貸付金の回収による収入	583	203
差入保証金の回収による収入	—	21,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	333,984	6,393
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△335,210	△194,009
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,847	△2,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	△338,057	△196,996
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,968	13,619
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	248,585	△197,800
現金及び現金同等物の期首残高	144,497	384,011
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 393,083	※ 186,210

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第 2 四半期累計期間（自 平成23年 9 月 1 日 至 平成24年 2 月29日）及び当第 2 四半期累計期間（自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 2 月28日）

当社は、精密切削加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。